

## 唯一無二

そろそろ夏枯れだった海中が騒がしくなってきた石狩湾。もちろんその雄姿は雄鯉かと思うと現代人に似て必ずしもそうとは云えない。草食系男子ならぬ細い雄鯉が気にかかる。南方の魚群たち：シイラ、ブリ、マグロ、サバ、アジもやって来る。南北混層の豊かな漁場となる。石狩川がもたらす栄養塩類はカタクチイワシ、マイワシを大量に発生させ、イカやサバが入ってくる。食物連鎖の狭海域現象である ▼この時期のヒラメは、利口な目をして小魚をどん欲に喰い尽くす海底からのハンターで、しかも実に用心深い。でも意外に釣りの世界ではビギナーズラックを連発させてくれるというから愉快な話ではありませんか ▼「秋」、瞬きをする暇なく季節は移る。生物は躍動し、子孫をつなぎ、木々は海へせっせと栄養を提供する。このような海が200万人人口圏にあって石狩海岸とともに残されているのは奇跡と云えよう。市民6万人にとって唯一無二の自然遺産だ。そして、価値観への物差しがやけに短くなった現代人への生き方の道標(みちしるべ)としても、畏敬(おそ)の心を忘れてはいけなと思う。

(市長)

## 広告